

ISSUE

「繋ぐ」

愛でる Special Issue:

隠れたカタチを切り取る 辻 恵子さんの「切り絵」

先どる 日常の街並みが飛び出す
マスダユタカさんの「3D立体写真」

深める+ 物流の効率化を追求し続ける
— FUKAMERU PLUS — KPPロジスティックスの改善活動

1枚の紙に隠れたカタチを切り取る 辻 恵子さんの「切り絵」

新聞紙やチラシ、写真や切手といった、普段なにげなく目にしている印刷物。

作家・辻 恵子さんは、これらの紙に隠れた人物像を独自の視点で切り取り、豊かな表情と動きのある「切り絵」作品を生み出しています。

また、質感や風合い、色調の異なる紙を貼り合わせてつくる「貼り絵」作品も、もうひとつのビジュアル表現として注目されており、

NHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」のオープニング映像にも起用されています。

幅広い層から熱い視線を集める気鋭の作家・辻恵子さんの多彩なアートワークの魅力に迫ります。

愛でる P01

隠れたカタチを切り取る
辻恵子さんの「切り絵」

先どる P06

日常の街並みが飛び出す
3D立体写真カード「フォト・ポ」

伝える P07

反骨の詩人から送られた
思慮深い1通の手紙

出会う P09

豊富な経験が裏付ける
セールスの「本質」

めくる P11

街角にあるもう一つの本棚
「“BOOK”マークセレクション」

深める+ P13

物流の効率化を追求し続ける
「KPPロジスティックス」

深める P14

KPPの最新ニュースを
キャッチアップ

訪ねる P15

紙の魅力を体感できる
「ペーパーイベント・カレンダー」

作る 付録

辻 恵子さんの
オリジナル「貼り絵」

作家

辻恵子さん



切り絵作家・イラストレーター。1975生まれ、東京都出身。文化学院文学科卒業。印刷物や不要になった紙片を素材に、独自の手法による切り絵や貼り絵作品を制作。日本各地での個展、香港、フランス、スウェーデンでの展示活動にも取り組む。切り絵、貼り絵、水彩画での絵本制作、さらには線画や題字など、ジャンルを超えた幅広いアートワークを手がける。9月10日には、2003年に辻さんが初めて絵（貼り絵）を担当した絵本「かけはどこ」（福音館書店）が単行本化された。
HP: <http://www.tsujikeiko.com>

私たちが日々の暮らしで当たりまえのように目にする新聞紙やチラシ、写真や包装紙などの印刷物。辻恵子さんは、それらの紙にハサミを入れ、予想もしなかった人物像などの作品を生み出す、切り絵作家です。下書きもなくフリーハンドで切り抜かれた作品は、あらかじめ塗り分けられたかのように色や模様をまとい、今にも動き出しそうな動きと物語の一幕のような表情を漂わせまします。黒い文字の部分を見立てるなど、平面に隠れたカタチを独自の手法で切り取る辻さんの切り絵作品は、書籍・雑誌の表紙や挿絵、絵本、CDのジャケットなどに数多く採用されています。また、もうひとつの表現手法である貼り絵では、これまでに5冊の絵本（うち3冊は海外でも出版）を手がけ、この10月に最終話を迎えたNHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」のオープニング映像や宇多田ヒカルさんが担当する主題歌のミュージックビデオに起用されたことで、年齢性別を問わず幅広い層にファンを広げています。

語学はもちろん、詩人が世界を見るとき視点、それに自分の作品を表現するための言葉を身につけたことは、作家として活動していくうえでムダではなかったと思っています。作品はつくり終えた時点で、終わりくとするのではなく、もし興味を持ってくれた人がいたら自分の言葉で話をすることも、作者としての役割だと思っています」と辻さん。ひとりの表現者として、自ら生み出した作品だけでなく、説明の言葉ひとつもないがしろにしない姿勢も、彼女の魅力を伝える大きな力になっています。

文化学院を卒業した辻さんは、幅広いアート分野で活躍するクリエイターを多く輩出する美術学校に入学。デッサンや水彩など、実技を中心とした授業を受けるなかで、独自の制作手法のヒントを見出します。「失敗した水彩画を破いて捨てようとしたとき、破かれた紙片の色の美しさにハッとしました。一枚の絵としては駄作だったとしてもそこに美しいピースがあることに気づき、切り抜いて遊んでいるうちにもいろいろ作品が生まれました」と辻さん。いつもとは違った角度からもものを捉え、独自の感性とフィルターを通して見ること、辻さんならではのアート表現が見えてきたのです。

その後、文化学院の画廊において初の個展を開催し、辻さんは作家としての第一歩を踏み出します。年に数回のペースで行ってきた個展は通算41回を数えるなど、精力的な創作活動を続けています。「印象的なのは、フランスでの展覧会ですね。日本・フランス・オランダという3カ国のペーパーアートの作家による合同展だったので、私は日本語の活字や切手を素材とした作品を中心に展示し、たくさんの方が驚きをもって作品を見てくださり、あらためて、紙やペーパーアートがユニ

バーサルなものであることを実感しました」と辻さん。彼女の作品の魅力は国内外の個展を通して、ポーターレスな広がりを見せています。

辻さんがハサミを手に、ひと筆書きのように紙を切り出すと、もの数十秒で思いもよらない人や動物のカタチが浮かび上がります。その過程は、頭のなかでビジュアルが見えているのではなく、自然に身体が反応する反射神経に近い感覚なのだそう。「運慶やミケランジェロも、同様の言葉を遣っていて大いに共感するのですが、この紙がどうなりたいかを感じ取って、なりたい形になるための手伝いをしているような感覚なんです」とのこと。辻さんの作品は、紙とシンクロする豊かで研ぎ澄まされた感覚から生まれるのです。

そんな辻さんに大きな転機が訪れたのは、今年はじめのこと。NHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」のオープニング映像に作品が起用されたのです。「映像ディレクターの小川純子さんが、貼り絵をお願いしたいと言ってくれて。貼り絵は、質感の選定や色の濃淡を含めた紙の染色も重要ですし、腕や脚、頭など、人物のパーツごとに切り出さなければならぬので時間がかかるんです。



①新聞購読者に配布される小冊子「スタイルアサヒ」の表紙。辻さんの作品が2015年4月からの1年間、全12号にわたって掲載された。②辻さんが絵を担当した切り絵絵本。写真の「かくれたかたち 1 2 3」(2008年)、「マークのなかに かくれたかたち」(2009年)。③2006年から2014年までの9年間、中央公論新社の図書目録の装幀画と題字を担当。④切手を素材に制作した作品。2009年にコニカミノルタプラザで発表した。⑤フランスのLe Poulailierで開催された合同展「PAPIER-紙」に出展した際のポスター(2014年)。

切り絵

紙が発するメッセージを感じ、なりたいカタチにしてあげるんです



街角の情景が飛び出す立体写真カード
マスタユタカさんの「フォト・ポ」

「ただの写真だと、その街の魅力が伝わりきれていないと感じたんです」。そう話すのは、この立体写真のポップアップカード＝『フォト・ポ』の作者、マスタユタカさん。夕暮れの商店街や駅前の風景、情感漂う入り組んだ路地など、街を歩くなかで心に残った情景を写真に収めるものの、奥行き感が出ないことにもの足りなさを感じ、写真を立体化することを思いついたのだそうです。その制作工程は、被写体を正面・右・左というように複数のアングルから撮影するのがポイント。型の形状に合わせて撮影した複数枚の写真を印刷し、それを切り出して組み立てていくのだそうです。マスタさんは、この『フォト・ポ』のほかにも、豆本（小型本）タイプの『マメポ』、小型のマッチ箱をベースにした極小作品も手掛けています。それらに共通するのは、どこにでもあるような“街”をモチーフにして

いること。「私のつくる作品のコンセプトは、“街の再発見”。みなさんが普段見ている街角や路地にも、楽しくて魅力的な建物や風景があることに気づいてくれたらいいと思っています」とマスタさんは話します。この『フォト・ポ』のつくり方がわかる、作品キット付きの解説本も発売中。自分の目でじっくりと見まわしながらつくることで、見慣れた街の魅力がもっと身近に感じられるはずです。

マスタ ユタカ さん

フォト・ポップアップ・アーティスト、イラストレーター。東京造形大学造形学部卒。写真を使ったポップアップ仕掛け本の第一人者として活躍中。文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品（2007年・2010年）、エプソンカラーイメージングコンテスト入賞（2008年）。

【WEB】 <http://homepage3.nifty.com/germa-ge-28/>



「写真でつくるポップアップカード」
(スタジオタッククリエイティブ社)



フォト・ポ「駒込駅」

マメポ「壁とおじさんか猫1」
(H70mm×W55mm×D10mm)



フォト・ポ「中野駅」



フォト・ポ「大船駅（大船観音）」



マッチ箱作品「とある喫茶店構内」(H20mm×W91mm×D55mm)



貼り絵

普段見落としてしまうもののなかにこそ、
素敵な何かがある



①個展開催に合わせて刊行した、自主企画の貼り絵工作キット。②NHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」のオープニング映像に登場する作品。③2003年に福音館書店の月刊絵本として刊行された絵本「かげはどこ」(貼り絵)。2008年には韓国語版も発売された。

また、たくさんさんのモチーフを具現化していく作業は、時間との戦いでした。制作段階では台本を読んでいたのが、あとになって『この絵は○○さんだったんだ』と気づくこともありました」と辻さんは当時を振り返ります。オープニングの短い時間のなかで、主人公・小橋常子の懸命に生き抜く前向きな姿と、彼女を取り巻く温かい人々の世界観を表現した辻さんの貼り絵は、宇多田ヒカルさんの主題歌と見事に融合。視聴者のこれから始まる1日を後押しする爽やかな映像として、多くの人の心に届いたはず。辻さんの創作活動には、いつも紙が中心にあります。今でも覚えているのが、幼い頃に読んだ、手塚治虫さんのエピソード。戦後まだ紙が貴重だった時代にタバコの包み紙をもらい、そこにマンガを描いていたそうです。私も作家としての活動をはじめた頃、一度使った紙の切れ端を糊づけして大きな紙をつくり、そこに大きな絵を描いたりしていました。今でもその感覚は残っていて、絵を描くために真新しい紙を買ってくるなんて贅沢な感じがしますし、緊張してしまうんですね」という辻さん。新聞紙やチラシなど、二度役目を終えた紙を多く使う背景には、紙を大切に作る気持ちも込められているのです。「それに、私の作品は、キャンバスや絵具など、特別な画材をそろえなくても身近にあるものでできるんです。料理にたとえれば、フォアグラやキャビアではなく、冷蔵庫にある残りもので十分美味しい料理がつけられるという感じ。そっちの方がうれしくないですか？」と辻さんは目を輝かせます。私たちが、普段気にもとめないさまざまな種類の印刷物。いつもとは違う角度から見つめてみれば、そこに隠れた面白い何かが見つかるかもしれません。

また、たくさんさんのモチーフを具現化していく作業は、時間との戦いでした。制作段階では台本を読んでいたのが、あとになって『この絵は○○さんだったんだ』と気づくこともありました」と辻さんは当時を振り返ります。オープニングの短い時間のなかで、主人公・小橋常子の懸命に生き抜く前向きな姿と、彼女を取り巻く温かい人々の世界観を表現した辻さんの貼り絵は、宇多田ヒカルさんの主題歌と見事に融合。視聴者のこれから始まる1日を後押しする爽やかな映像として、多くの人の心に届いたはずです。

「手紙」は語る

植村鞆音

人間は表現する動物だというのが、手紙は人間の表現のなかでもっとも深く高貴なものだと思う。手紙は手書きがいい。眼光紙背に徹すれば、書き手の人となりが見えてくる。

第八回 金子 光晴

金子光晴という詩人の名を知ったのはいまから半世紀まえ、昭和三十九年のことである。わたしはまだ二十代だった。その年の初夏、わたしは二年間勤めた映画会社を辞め出来たばかりのテレビ局に転職して新しい人生を歩み直していたが、ある晩職場の仲間と麻雀を終えたあと、直属の上司のアパートの一室で金子光晴の詩に出会ったのだ。

「恋人よ。たうたう僕は あなたのうんこになりました。そして狭い糞壺のなかで ほかのうんこいつしよに 蠅がうみつけた幼虫どもに くすぐられてゐる。あなたにのこりなく消化され、あなたの汗になつて おしだされたことに つゆほどの怨みもありません。 うきながら、しづみながら あなたをみあげてよびかけても 恋人よ。あなたは、もはや うんことなった僕に気づくよしなく ぎいばんと出ていってしまった。 —もう一篇の詩—」

直属の上司は馬場康(のちのばば(ういち)さん)で、もてなしてくれたのが最初の奥さんで詩人の堤江実さんだった。金子光晴のその詩はふたりのアルバムに馬場さんの字で書きこまれていた。わたしは、人間の体内から排出された、一般的にけつして美しいとはいいがたい排泄物が、かくも美しい詩に昇華したことに驚

てすぐ左手が応接間。金子さんはたぶん浴衣姿だったと思う。詩人七十四歳。おつむの毛がうすい。幾多の修羅場をくぐった眼光はときに鋭かったが、諧謔あり、顔をくしゃくしゃにする笑顔にわたしは魅せられた。

いまにして思うと若気の至りというしかないが、冒頭わたしはこんな質問をした。芥川龍之介が人生はボードレールの二行に如かないといっていますが、金子さんにとつて詩とはなんでしょう。すると、顔をくしゃくしゃにしなが詩人が応えた。へー。芥川がそんなことをいっていますか。ほくには詩なんかより、「晩女と過ごすほうがずっと価値がある。わたしは、二筋縄でいかないこの屈折を愛した。詩人という人種は、自分の作った詩を宝石のごとく愛しむもの。わたしはずっとそう考えていた。しかし、金子さんはその概念をはるかに超えていた。無頓着でありながらナイーブ。いや、そんな言葉ではいい表せない複雑な要素が同居していた。わたしは、うんこの詩を原稿用紙に書いてもらい番組の中でロールで見せること

し、初めて金子光晴の名前を脳裏に刻んだ。

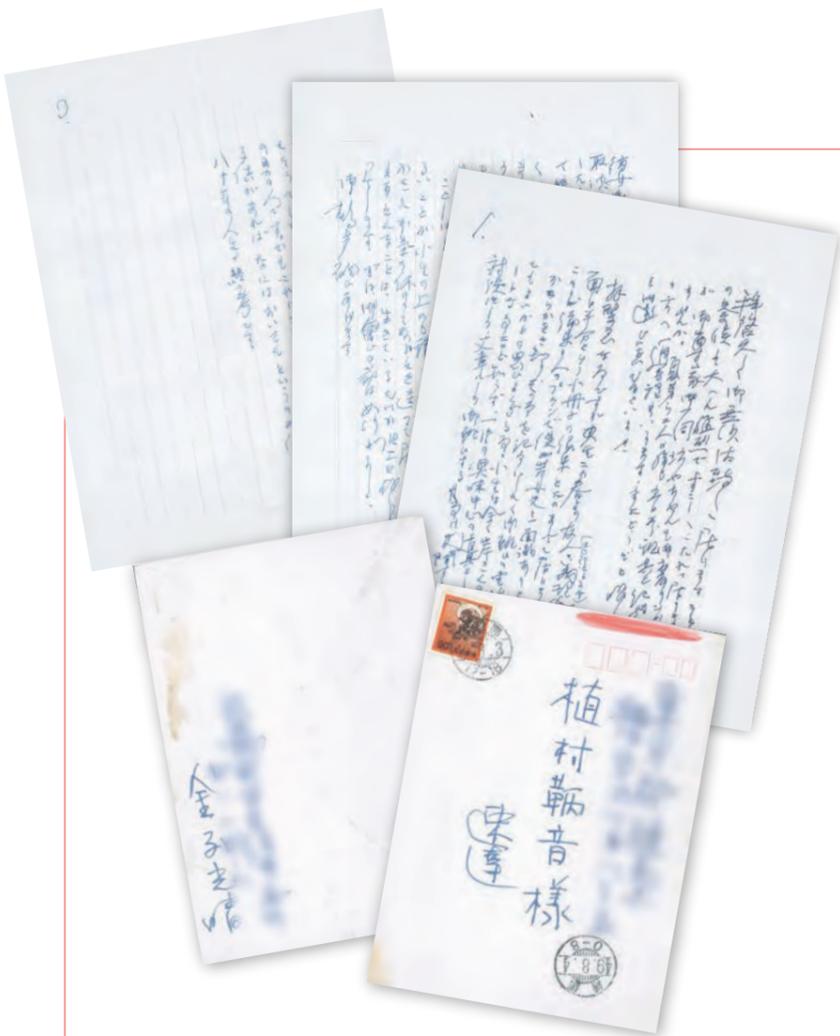
数年後の昭和四三年、わたしは編成という職場から演出という職場に配転となり、その年の五月から始まった「人に歴史あり」という、各界で功なり名をとげた人の半生を紹介する番組の制作スタッフになった。そして、翌四四年、金子光晴の回を担当することになる。わたしとつてのいみじき出会いだった。

金子光晴は、よく抵抗の詩人とか反骨詩人とかいわれていた。喘息の持病をもつひとり息子の乾(のち早大教授)さんを松葉いぶしにして発作を起こさせて徴兵を忌避させたり、難解な象徴詩に反戦の寓意をこめたりということまで世に知られていた。ところが、番組の始まる前年の四三年、詩人にとつての初孫を詠った詩集『若葉のうた』が、抵抗や反骨の詩人らしくらぬ好々爺ぶりを伝えたため評判を呼び、それを聞きつけたプロデューサーが番組でとりあげることを決め、そのお鉢がわたしに回ってきたのだ。

うんこの詩と『若葉のうた』くらいしか知らないわたしは、取材のため吉祥寺の金子家を訪ねたのは、夏の暑い日だった。古い日本家屋の玄関を入ると、お思いついた。金子さんをお願いすると、お宅には過去に出版された詩集がほとんど残されてなくて覚えていないという。仕方なくわたしは自宅に戻り、分厚い『定本金子光晴全詩集』から「もう一篇の詩」を書き写し、後日金子宅へと運んだ。書きあがった原稿に「、、」の数がやたらに多い。金子さんは、わたしが字数を確認するために打った「、、」まで書き写したのだった。

知り合ってから亡くなるまでの六年間、わたしは家族ともども金子二家との交友を満喫した。うちの長男はお孫さんたちとほぼ同年齢だったこともあり、金子さんにかわいがられた。金子さんの手紙には「坊やちゃん」という言葉がよく出てくる。長男は、金子さんから頂戴したぬいぐるみの豹を「ビヨウスケ」と名づけて五十歳近くになったいまもたいせつにしている。

岸恵子さんが金子さんの『日本人の悲劇』を読んで感動したというので、岸さんを連れて金子さんのお宅に伺ったのも懐かしい思い出のひとつだ。後年、金子さんが「面白半分」の責任編集をされた折、離婚したばかりの岸さんを扱おうという編集スタッフの意向に対し、岸さんを慮って、あくまでも岸さんの気持ちに沿うようにしたいという相談のお手紙を頂戴したことがあるが、これは晩年「エロじい」などといわれた金子さんの本質が、人間への限りないやさしさにあることを証明してあまりあるとわたしは思う。




著者略歴
うえむら ともね
植村鞆音 エッセイスト

小説家・直木三十五の甥、東洋史学者・植村清二の子として愛媛県松山市に生まれる。1962年早稲田大学第一文学部史学科卒業後、東映、テレビ東京に勤務。1994年同局常務取締役。1999年(株)テレビ東京制作代表取締役社長。DACグループ顧問。農業生産法人NIKI Hillsファーム相談役。2005年「直木三十五伝」で尾崎秀樹記念・大衆文学研究賞受賞、2007年「歴史の教師植村清二」で日本エッセイスト・クラブ賞受賞。主な著書に『夏の罫』『気骨の人 城山三郎』など。



かねこ みつはる
金子 光晴
詩人
1895-1975

愛知県津島市出身。早稲田大学、東京美術学校(現・東京芸術大学)、慶應義塾大学をいずれも中退。反骨の文化人として知られ、戦争中も反戦の立場を貫いた。1954年、『人間の悲劇』で読売文学賞を受賞。ほか著作に、詩集『こがね蟲』『鮫』『落下傘』『絶望の精神史』や、自伝『詩人』『マレー蘭印紀行』『どくろ杯』『ねむれ巴里』などがある。

サブカルチャーの情報発信地として注目!
全国のフリーペーパーが入手できるブックショップ。

“フリーペーパー”と聞いてイメージするのは？ 駅の構内やカフェ、書店の一角に置いてあり、中身は求人広告やクーポンがどっさり、という方が大半かもしれません。しかし、無料だからといって侮ることなかれ。出版不況が叫ばれて久しい今日、大手出版社が発行する商業誌さながらのデザインと企画が詰まったフリーペーパーが続々と登場し、新しい価値観を発信する“紙メディア”として醸成しつつあるのです。「ONLY FREE PAPER」はその名の通り、フリーペーパーのみを扱う日本で唯一の専門店。店内には個人、企業を問わず、全国各地で制作されている多種多様なフリーペーパーが並んでいます。それらは、地方の魅力を伝えるタウン情報誌から写真集さながらのアート誌、自分の文芸作品を掲載するものから、趣味が高じて調べ上げたマニアックな情報誌まで、どれも個性的なものばかり。使用する紙や判型にもこだわった、千姿万態のフリーペーパーが溢れています。これらはすべて自由に閲覧できるほか、一部をのぞき1人1冊まで無料で持ち帰ることもできるので、家でじっくり楽しむこともできます。フリーペーパーは基本的に増刷しないので、在庫がなくなれば配布は終了。お気に入りの一冊は早めに入手するのがオススメです!

フリーペーパー



ONLY FREE PAPER ヒガコプレイス店

- 住所: 東京都小金井市梶野町5-10-58 コミュニティステーション東小金井
 - 交通: 中央線「東小金井」駅より徒歩2分
 - 営業: 11:00~19:00 / 水曜定休
- <http://onlyfreepaper.com>

INFORMATION

- 通販サービス
- 「OFF SELECT BOX」(厳選20冊) 3,240円
- 「OFF MONTHLY BOX」(当月発行100冊※1) 5,400円
- ※1 あくまで平均の数字で月によって入荷にばらつきがあります。
- ※購入方法・詳細については、上記HPを参照ください。

しかけ絵本



下左:「くるまるちゃん」(大日本絵画) デビッド・A・カーター / 作 きたむらさきお / 訳
下右:「ベッシーのすてきなキャンディ」(WORLD LIBRARY) スー・ホワイティング / 作
ステュアート・マーティン / 絵 おおさきみちこ / 訳

しかけ絵本専門店 Meggendorfer (メグゲンドルフアー)

- 住所: 神奈川県鎌倉市由比が浜3-1-27
 - 交通: JR横須賀線「鎌倉」駅より徒歩15分、江の電「和田塚」駅より徒歩3分
 - 営業: 10:00~18:00 / 水曜定休 ●電話: 0467-22-0675
- <http://www.meggendorfer.jp>

大人でも楽しめる、複雑で美しい作品の数々!
600種類以上の“しかけ絵本”を扱う専門店。

ページを開くと立体的な紙のオブジェが飛び出すものから音や手触りを楽しむもの、自分でつまみをもって動かすものや、ページをめくる動作によって絵がバラバラと動き出すスクリーンなど、本を開いた瞬間、想像を超えた驚きと感動を与えてくれるしかけ絵本。鎌倉にある「メグゲンドルフアー」は、国内外から取り寄せた良質のしかけ絵本を600種類以上そろえる国内唯一の専門店です。床から天井まで、まるでおとぎの国のように飾られたしかけ絵本を目当てに、日本全国から多くのファンが訪れています。「しかけ絵本は、決して子どもだけのものではありません」。そう話すのは、両親とともに店を切り盛りする嵐田一平さん。もちろん、乗り物や生き物、恐竜や童話など、子ども向けの作品が中心ですが、STARWARSの世界をモチーフにしたものや上質なインテリアとしても使えるポップアートなど、大人でも見応えたっぷりの、魅力的な作品も見ることができます。「対象年齢は、生後3ヶ月の乳児から。文字が読めなくても視覚的に楽しめるものが多いし、指先を使うことで脳に適度な刺激を与えるので知育にも最適です。また、90才を超えた高齢者の方にも好評なんです」と嵐田さん。緻密な設計力と精巧な紙細工、ユニークなアイデアとサプライズがあふれるしかけ絵本の奥深い世界に、あなたもドキドキワクワクすること間違いなしです!

INFORMATION

- 通販サービス
- 同店で取り扱う「しかけ絵本」は全国配送も可能。
- ※購入方法・詳細については、上記HPを参照ください。

街角にあるもうひとつの本棚
「BOOKマークセレクション」

電子ブックと紙の本。読みたい本があるとき、あなたはどちらを選びますか? たしかに複数の本を収容できる電子ブックは紙の本と違って置き場所に困ることはないし、何冊分持ち歩いてもカバンが重たくなることはありません。それに、本屋に行かなくてもその場ですぐに購入し、読むことができるのは大きなメリットだけ、本屋の棚をながめる楽しみはない。読書のスタイルは人それぞれですが、紙の手触りや質感、匂いや重さ。それに、ページをめくる感覚や1冊を読み終えてボタンと本を閉じる時の満足感は、紙の本ならではのものです。紙の本には電子ブックでは得られない、奥行きのある価値が詰まっています。本はさまざまな知識と知恵を与えてくれるもの。ときに一冊の本との出会いが退屈な日常を揺さぶることもあるし、生き方を変えることもあります。近年、店内にある蔵書を自由に閲覧できるカフェやバーが続々と登場しています。仕事が早めに終わった日や時間を余らせている休日、新たな本との出会いを求めて街角にあるもう一つの本棚へ出かけてみませんか?

文学バー



本好き、作家と交流ができるイベントも充実!
芥川賞作家がプロデュースする“文学バー”。

大阪・心斎橋駅から徒歩すぐ。本好きのたまり場として話題となっているのが、文学バー「リズール」です。奥に伸びた隠れ家のような空間には、壁一面とカウンターに古今東西の本がどっさり。文芸書や詩集、写真集や美術書など、気になる本を自由に手に取り、アルコールとともに楽しむことができます。「もっと気軽に本を楽しめる空間をつくりたかった」。そう話すのは、このリズールをプロデュースする作家・玄月さん。執筆活動の傍ら、営業日はほぼ毎日カウンターに立っているそうで、その飾らない人柄と芥川賞作家との会話を目当てに、さまざまな年代の読書家が集まっています。また、リズールでは、本に関するイベントも多数開催。参加者が好きな本を持ち寄り、その魅力を存分に語る「リーダーズ・ネスト」、作家をゲストに招き、作家自身と作品の魅力に迫る「クリエイターズ・ネスト」など、趣向を凝らした企画イベントは毎回好評を博しているとか。「知らない作家やジャンルを広げてほしい」(玄月さん)の言葉どおり、通うたびに新しい“出会い”を提供してくれる文学バー。仕事帰りにちょっと本を読みたい方から、活字を読まないけど落ち着いたというコアな読書家まで、文学の世界を広げる“本”との出会いを楽しんでみませんか。

文学バー「Liseur(リズール)」

- 住所: 大阪府大阪市中央区南船場4-11-9 コムズビルB1F
 - 交通: 地下鉄各線「心斎橋駅」3番出口より徒歩3分
 - 営業: 18:00~24:00 / 月・火曜定休
 - 電話: 06-6282-7260
- <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~liseur>

INFORMATION

- ドリンクメニュー
- ビール、焼酎、スコッチ、バーボン、ワインなど700円〜。コーヒー、紅茶、チャイなどのソフトドリンクは600円〜。またオリジナルカクテルには、「老人と海」、「バナナフィッシュ」にうってつけの日」など、玄月さん考案のオリジナル文学カクテル6種もあり。
- フードメニュー
- おつまみ各種300円〜。ミートパイやカレーライスなどの自家製メニューから、オトクな「ワンプレートメニュー」まで、夕食代わりにもなる充実ぶり。

▶ 「家族の会社見学会」を開催

8月9日に社員の家族を会社に招待する「家族の会社見学会」を開催しました。これはワークライフバランス向上を目的に2009年からスタートしたもので、今年も東京本社、関西支店、北日本支店札幌営業部の3カ所で同時開催し、23家族68名が参加しました。



▶ 「KPP統合報告書」を発行

このたび、当社は「KPP統合報告書」を発行いたしました。同報告書は従来から発行していたCSR活動の報告書「CSRレポート」に財務情報等に加え、包括的な当社状況の報告書として初めて発行するものです。なお、当社コーポレートサイトからもご覧いただくことができます。
<http://www.kppc.co.jp/ja/top.html>



▶ KPPアジアパシフィック 第2回アジア統括会議を開催

昨年に引き続き、9月1日にシンガポールにて、KPPアジアパシフィック株式会社（シンガポール地域統括法人）の第2回アジア統括会議を開催しました。KPPアジアパシフィック傘下の各拠点9カ国から総勢13名が集まり、日本からも田辺社長をはじめ担当役員が出席し、今後の成長戦略に向けた活発な議論が展開されました。



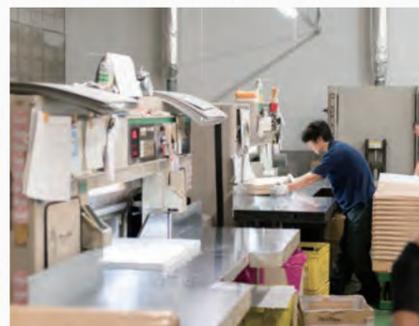
原紙の入庫時の小さなムダを見直し、効率化を実現。



搬出頻度によって最適な場所に保管されている平判。



豊富な銘柄が取り揃う、ロール状の巻取紙。



戸田事業所は3台の断裁機を所有。ニーズに合った仕様に加工。

▶ KPPロジスティックス株式会社

■新木場事業所
東京都江東区新木場1-16-5
TEL.03-3521-5201

■戸田事業所
埼玉県戸田市美女木1194
TEL.048-449-0064



物流は、私たちの生活を支える必要不可欠なインフラであり、人の体に例えれば全身に必要な成分を運ぶ、いわば血液のような役割を担っています。KPPロジスティックスは、原紙の保管・管理・輸送業務を担う物流会社です。新木場（東京都江東区）と戸田（埼玉県戸田市）という2つの事業所にて、関東地区にあるお客さまとのネットワーク強化、顧客サービス向上に取り組んでいます。新木場ではシート状の平判、戸田は平判に加えてロール状の巻取紙を多数在庫。印刷・情報用紙の定番銘柄から特殊紙、包装紙まで、印刷会社さまや卸商さまからの多様なニーズに応えるための体制づくりに努めています。

「まずは、固定概念にとらわれず、フラットな視点から物流の最適化を図っています」。そう話すのは、今年5月、新社長に就任した此森論さん。安全と配送品質にこだわりながら、作業工程の見直しをゼロベースから進めているそうです。「ご注文いただいた商品も、少しでも早く、安定してお客さまのもとへ届けるにはどうすれば良いか。原紙の保管ルールと作業導線の見直し、出荷までのフロー、配車システム

や配達ルートの組み方など、これまで、あたりまえとされてきたことを一つひとつ見直すことが最も重要で、サービス向上の第一歩だと思っています」と此森社長。原紙の入庫庫にかかる時間、配送にかかる時間など、スピードアップによる効率化は物流業務の肝となる重要な要素。荷役、ドライバー、それを支える配送事務のそれぞれが知恵を出し合い、確実に実行する。改善マインドは、KPPロジスティックスの企業文化として社員一人ひとりに確実に定着しつつあります。

「まずは安全第二」という此森社長の方針に沿って、KPPロジスティックスでは配送の安全に向けたさまざまな施策が実行されています。配送を担当する全ドライバーのゴールド免許取得を目標に、事故一歩手前の事例をまとめた「ヒヤリ・ハット」を個別に集計。運転中に気づいた不安全な行動と対策を共有することで、事故防止に取り組んでいます。また、ドライバー同士の思いやり行動を増やし、首都高速道路での事故削減をめざす。東京スマートドライバー・プロジェクトに参画。シンボルマークとなるステッカーを配車に貼ることで、ドライバーのマナー向上、

KPPのグループ企業にクローズアップ

深める + FUKAMERU PLUS

小さな改善の積み重ねによって、安全と品質の向上を実現。



戸田営業所内に掲出された「運行管理者資格」の認定証。



「事業所間のネットワーク強化をめざす」と話す此森社長。

10/4(火)~7(金)

EXHIBITION

TOKYO PACK 2016 (2016 東京国際包装展)

DATA

食品・飲料から医薬品、日用品まで、各業界で活躍している包装資材・機械を中心に、国内外の最新製品・技術を集約して発信する国際展示会。セミナー(無料)、イベントも多数開催されます。

- 会場:東京ビッグサイト・東ホール全6館
(東京都江東区有明3-11-1)
- 料金:無料(ただし、事前登録制)
- 問い合わせ:事務局
- TEL:03-3543-1189
- HP:http://www.tokyo-pack.jp/

10/19(水)~21(金)

EXHIBITION

第54回東京国際プレミアム・インセンティブショー秋2016

DATA

ノベルティグッズのほか、POP・サインなど、マーケティング、販売促進に関する多種多様な商材が並ぶ専門見本市。販促業界の著名講師による専門セミナーも期間中、毎日開講されます。

- 会場:サンシャインシティ・コンベンションセンター文化会館2・3・4F(東京都豊島区東池袋3-1-1)
- 料金:無料(ただし、事前登録制)
- 問い合わせ:(株)ビジネスガイド社・事業部 P1ショー事務局
- TEL:03-3847-9155
- HP:http://www.pishow.com/54pi/index.htm

10/5(水)~7(金)

EXHIBITION

第4回【関西】高機能フィルム展 ~フィルムテック大阪~

DATA

高機能フィルムの最新製品・技術・情報が一堂に会する西日本最大級の専門展示会。注目テーマを扱うセミナー73講演も予定されています。

- 会場:インテックス大阪
(大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102)
- 料金:無料(ただし、無料招待券が必要)
- 問い合わせ:事務局(リード エグジジション ジャパン内)
- TEL:06-6733-7054
- HP:http://www.filmtech-kansai.jp/ja/

10/22(土)・23(日)

EVENT

第4回 富士山紙フェア

DATA

静岡県富士市の地場産業である「紙」の魅力を発信する人気イベント。紙製品の展示販売のほか、和紙職人による手漉き実演会、ペーパーアート作品の展示など、誰もが楽しめる催しが満載です。

- 会場:富士市産業交流展示場ふじさんめっせ
(静岡県富士市柳島189-8)
- 料金:無料
- 問い合わせ:富士商工会議所 振興課
- TEL:0545-52-0995
- HP:http://fujisan-kamifair.net/

10/11(火)~13(木)

EVENT

池上本門寺 お会式

DATA

日蓮聖人の命日に合わせて営まれる伝統行事。12日の「万灯練供養」では、和紙で折った花を飾った万灯を手に、約3,000人が集結。池上駅周辺から本門寺までの行程を盛大に練り歩きます。

- 会場:日蓮宗大本山 池上本門寺
(東京都大田区池上1-1-1)
- 料金:無料
- 問い合わせ:池上本門寺
- TEL:03-3752-2331
- HP:http://honmonji.jp/index.html

11/18(金)~12/25(日)

EXHIBITION

神の手・ニッポン展II

DATA

日本人ならではの繊細な手技。神の手を持つ日本人作家の世界観を体感できる合同展です。人気のペーパークラフト作家・中山ゆかりさん、立体切り絵作家・SouMaさんも出展予定。

- 会場:目黒雅叙園・百段階段
(東京都目黒区下目黒1-8-1)
- 入場料:一般1,200円・学生600円・小学生以下無料
- 問い合わせ:目黒雅叙園(イベント企画)
- TEL:03-5434-3140
- HP:http://kaminote.org/future2

10/12(水)~14(金)

EXHIBITION

第13回国際フラワー-EXPO

DATA

花業界国内最大の展示商談会。入賞品種の展示のほか、生育・販促関連商品、最新商材などが披露されます。当社は切り花長持ちシール「花想」や包装材をご提案します。[KPP出展小間番号:21-53]

- 会場:幕張メッセ
(千葉県千葉市美浜区中瀬2-1)
- 料金:無料(ただし、無料招待券が必要)
- 問い合わせ:事務局(リード エグジジション ジャパン内)
- TEL:03-5302-3142
- HP:http://www.ifex.jp/

12/8(木)~10(土)

EXHIBITION

エコプロ2016~ 環境とエネルギーの未来展

DATA

環境性能の高い製品や環境負荷低減への取り組みなどのソリューションが集結する展示会。持続可能な社会の実現をテーマに、700を超える企業・団体が参加予定です。[KPP出展小間番号:2-049]

- 会場:東京ビッグサイト・東ホール
(東京都江東区有明3-11-1)
- 料金:無料(ただし事前登録制)
- 問い合わせ:エコプロ運営事務局
- TEL:03-6812-8686
- HP:http://eco-pro.com/2016/

※開館日、開館時間等は、各ホームページにてご確認ください。 ※イベント、展示は、諸事情により変更される場合があります。お出かけの際は、事前にホームページまたはお電話にてご確認ください。



輸送マイルージとCO2排出を抑え、地球温暖化に配慮したライシインキを使用しています。



針金・糊・熱が不要な製本方法を採用し、リサイクルや怪我の危険へ配慮しています。



国際紙パルプ商事株式会社
KOKUSAI PULP&PAPER CO.,LTD.

発行:経営企画本部 経営企画部 CSR・広報課
〒104-0044 東京都中央区明石町6番24号
TEL (03) 3542-4111 (代)

URL <http://www.kppc.co.jp/>

作る

紙と触れ合い、モノを作る

「PAPERCRAFT on the DESK」

辻 恵子さんの「貼り絵」

辻 恵子さんの新作「貼り絵」作品を実際につくってみましょう。
パーツごとに切って糊付けしたら、台紙に貼って飾ってみてください。
秋の装いの服に身を包んだ少女と黄色く色づいたイチョウの葉が、
あなたのデスクまわりに彩りを与えてくれるはずです。

切りとり線



作り方

- 1 オモテ面の切り取り線に沿って、それぞれのパーツを切り出す。
- 2 右の完成図を参考に脚の長さや腕の各パーツを貼り合わせ向きを微調整する。
- 3 ペンを使って、少女の目を描き入れる。

